

風水害に備えて

風水害は事前にある程度予測できるとはいえ、台風などがもたらす大雨・強風の威力は計りしれません。また台風が過ぎ去った後も河川の増水・氾濫の恐れがあります。テレビ・ラジオなどの気象情報にじゅうぶん注意し、万全の対策をとるようにしましょう。

避難情報（警戒レベル）について

災害状況に応じて発令され、防災行政無線、テレビ、広報車などでお知らせします。

警戒レベル	町が発令する避難情報等	気象情報	河川の情報	土砂災害の情報	避難行動等
警戒レベル5	災害発生情報 ※災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令	大雨特別警報	氾濫発生情報		すでに 災害が発生 している状況です。 命を守るための行動 をとりましょう。
警戒レベル4 全員避難	避難勧告・避難指示（緊急） ※地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令		氾濫危険水位 中甲橋 4.60m	土砂災害警戒情報 危険度分布「非常に危険」 (うす紫)	速やかに避難先へ避難 しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3 高齢者は避難	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報	避難判断水位 中甲橋 4.10m	危険度分布「警戒」 (赤)	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難 をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2		洪水注意報 大雨注意報	氾濫注意水位 中甲橋 3.00m	危険度分布「注意」 (黄)	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。
警戒レベル1		早期注意情報	水防団待機水位 中甲橋 2.00m		災害への心構えを高めましょう。

雨の降り方と警戒の目安

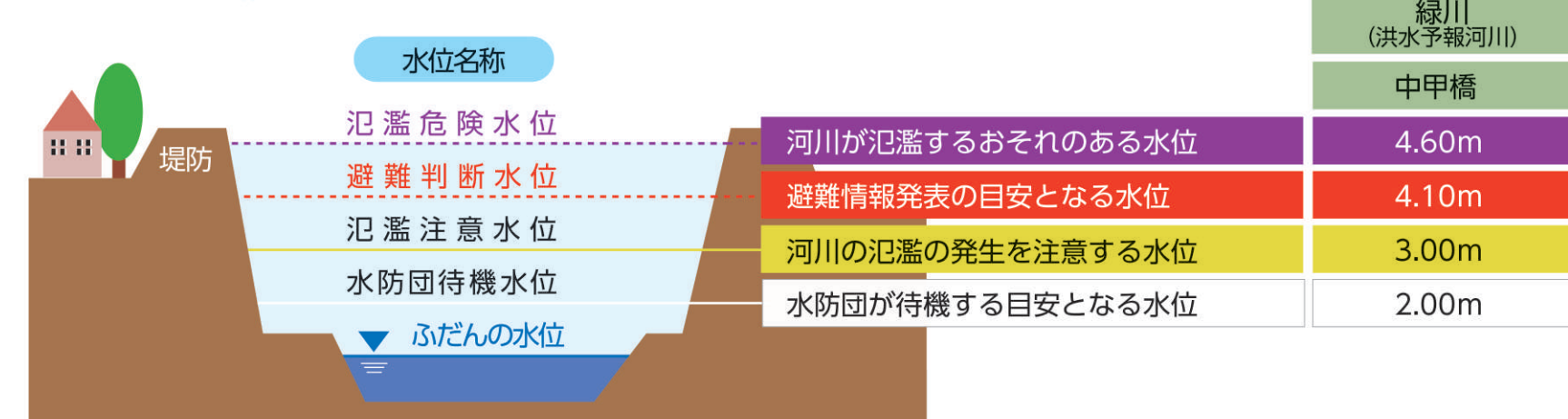
やや強い雨	1時間に10～20mm未満の雨 傘をさしていても、地面からの跳ね返りで足元がぬれる。長雨になる場合は災害への注意が必要。	強い雨	1時間に20～30mm未満の雨 傘をさしていても、全身が濡れるほどの土砂降り。小規模な浸水等が発生する可能性がある。	激しい雨	1時間に30～50mm未満の雨 バケツをひっくり返したような雨で、道路が川のようになる。洪水の危険性が高く、避難の準備が必要。
非常に激しい雨	1時間に50～80mm未満の雨 滝のような雨で、水しぶきであたり一面白っぽくなり、視界が悪くなる。洪水や内水氾濫など多くの災害が起こりやすくなる。	猛烈な雨	1時間に80mm以上の雨 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。	注意報や警報の発表	熊本地方気象台では、「強い雨」や「激しい雨」以上の雨が降ると予想される時は、 大雨注意報 、 大雨警報 や 特別警報 を発表し、注意や警戒を呼びかけ、さらに雨がふり続き土砂災害発生の可能性が高まった時に熊本県と気象台が連携して 土砂災害警戒情報 を発表します。

風の強さと警戒の目安

やや強い風 10～15m/秒未満の風	強い風 15～20m/秒未満の風	非常に強い風 20～30m/秒未満の風	猛烈な風 30m/秒以上の風
風に向かって歩きにくくなる。樹木全体が揺れ始める。	風に向かって歩けなくなる。屋根瓦等がはがれるものがある。	何かにつかまっていないと立っていられない。ビニールハウスが広範囲に破れる。	屋外での行動は極めて危険。建物でも倒壊するものがある。

風水害に備えて

河川の水位情報



洪水警報の危険度分布

洪水警報の危険度分布は、洪水警報を補足する情報です。指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川（水位周知河川及びその他河川）の洪水災害発生の危険度の高まりの予測を示しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。3時間先までの流域雨量指数の予測値が洪水警報等の基準値に到達したかどうかで、危険度を5段階に判定し、色分け表示しています。気象庁ホームページにて情報をご覧ください。

色が持つ意味	相当する警戒レベル
極めて危険	すでに警報基準を大きく超過した基準に到達
非常に危険	3時間先までに警報基準を大きく超過した基準に到達すると予想
警戒（警報級）	3時間先までに警報基準に到達すると予想
注意（注意報級）	3時間先までに注意報基準に到達すると予想
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意

風水害に関する警報等

特別警報・警報・注意報の基準とは	特別警報	大雨特別警報 大雨が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。大雨特別警報には、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。
	特別警報	暴風特別警報 暴風が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。
	特別警報	暴風雪特別警報 雪を伴う暴風が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害等による重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかける。
	特別警報	大雪特別警報 大雪が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。
警報	大雨警報 大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には、大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。	
	洪水警報 河川の上流域での降雨や融雪等により河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。対象となる重大な災害として、河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害があげられる。	
	大雪警報 大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	
	暴風警報 暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	
	暴風雪警報 雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視界が遮られることなどによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかける。	
	記録的短時間大雨情報 大雨警報（浸水害）等が発表され、数年に一度の記録的な短時間の大雨を観測した際や解析したときに発表される。※熊本県の記録的短時間大雨情報発表基準 110mm/1 時間	
	土砂災害警戒情報 大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自発的避難の参考となるよう、対象となる市町村を特定して県と気象台が共同で発表する防災情報。	